

東京都がん対策推進協議会

第1回 がん医療部会

会議録

令和6年11月13日

東京都保健医療局

(午後 2時00分 開会)

○田村医療連携・歯科担当課長 お待たせいたしました。ただいまより、東京都がん対策推進協議会第1回がん医療部会を開会いたします。

私は、今年度よりがん対策を所管してございます、医療政策部医療連携・歯科担当課長の田村でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめに、本日のWeb会議にあたりまして、委員の皆様には2点お願ひがございます。1点目は、議事録作成のため、必ず、ご所属とお名前をおっしゃってからご発言いただきますようお願いいたします。2点目は、ご発言いただくとき以外は、マイクをミュートにさせていただきますようお願いいたします。

なお、本日の会議は、後日、資料及び議事録を公開させていただく予定でありますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、開会にあたりまして、医療政策担当部長の岩井より、一言ご挨拶申し上げます。

○岩井医療政策担当部長 皆様、こんにちは。保健医療局医療政策担当部長の岩井でございます。

本日は大変お忙しい中、本会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

がん医療部会は、前期までの計画推進部会と病院機能部会を再編し、新たに設置された部会となりまして、がん医療提供の充実、がんと診断された時からの切れ目のない緩和ケアの提供、小児・AYA世代のがん医療や高齢者のがん医療に特有の事項など、幅広い内容を取り扱ってまいります。

本日の主な議題は、来年2月にリニューアルを予定しております東京都がんポータルサイトにおける、がん医療のコンテンツでございます。

委員の皆様には忌憚のないご意見やご助言を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○田村医療連携・歯科担当課長

はじめに、本日の会議資料でございますけれども、委員の皆様には事前にデータにて送付いたしてございます。次第に記載のとおり、資料1から資料3までと、参考資料1から5までとなります。

次に、本日ご出席の委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

本日より新たな任期となっておりますので、委員の皆様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしましたら、一言ご挨拶をいただければと思います。

それでは、資料2-2をご覧ください。名簿の上段からご紹介していきます。

はじめに、株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション、統括所長の秋山委員でございます。

○秋山委員 はい。秋山です。今は、認定NPO法人マギーズ東京のがん相談も担当しております。よろしくお願ひいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院、名誉院長の佐々木委員でございます。佐々木委員は、本日欠席のご予定となっております。

続きまして、公益財団法人がん研究会有明病院、院長、佐野委員でございます。

○佐野委員 がん研有明病院の佐野です。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院、院長、戸井委員でございます。

○戸井委員 東京都立駒込病院の戸井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 よろしくお願いたします。

では続きまして、国立大学法人東京大学大学院医学系研究科、特任教授の中川委員でございますが、本日は欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、医療法人社団愛語会要町病院副院長、吉澤委員でございます。

まだ出席されていないようでございますので、先に進めさせていただきます。

続きまして、東京慈恵会医科大学附属病院看護部管理師長の小寫委員でございます。

○小寫委員 慈恵医大附属病院の看護部管理師長の小寫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今、慈恵医大の中で、看護部全体の教育担当と、あと腫瘍血液内科を担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、国立研究開発法人国立成育医療研究センター、小児がんセンター長の松本委員でございます。

○松本（公）委員 はい。国立成育医療研究センターの松本公一と申します。

今、成育は小児がん中央機関として機能しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、公益財団法人がん研究会有明病院、緩和ケアセンター長の松本委員でございます。

まだ出席されていないようですので、次に行きたいと思っております。

続きまして、国立研究開発法人国立がん研究センター、がん対策情報センター本部副本部長の若尾委員でございます。

○若尾委員 はい。国立がん研究センターの若尾です。

私、厚労科研の研究班で、病院からの情報提供の在り方なども担当させていただいておりますので、その議論等もご紹介できればと思っています。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、公益社団法人東京都医師会、理事の小平委員でございます。

- 小平委員 こんにちは。東京都医師会の小平でございます。よろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 続きまして、公益社団法人東京都歯科医師会、理事の糠信委員でございます。
- 糠信委員 東京都歯科医師会、公衆衛生の理事を担当しております糠信と申します。よろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 続きまして、公益社団法人東京都薬剤師会、常務理事の松本委員でございます。
- 松本（雄）委員 東京都薬剤師会の松本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 続きまして、公益社団法人東京都看護協会、常務理事の横山委員でございます。
- 横山委員 はい。東京都看護協会、横山と申します。よろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 続きまして、認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー、事務局長の大井委員でございます。
- 大井委員 がんサポートコミュニティーの大井です。よろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 続きまして、公益財団法人がんの子どもを守る会、理事長の山下委員でございます。
- 山下委員 がんの子どもを守る会の山下でございます。小児がんの患者家族の立場から、ご意見を述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- ただいま吉澤委員が入られたというところでございますので、入ってすぐ恐縮なんですけれども、一言ご挨拶いただければと思います。
- 吉澤委員 すみません、ちょっと遅れまして。要町病院の副院長の吉澤です。
- 今も在宅と緩和ケアを中心にやらせていただいています。今年もよろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 先ほど、がん研有明の松本委員も入られたようですので、すみませんが、入られてすぐですけれども、一言ご挨拶をいただければと思います。
- 松本（禎）委員 がん研有明病院の緩和ケアセンター長の松本と申します。よろしくお願いいたします。
- 田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。
- 以上で委員の紹介を終えたいと思います。
- 少人数でのご議論となりますので、ぜひ皆様より忌憚のないご意見を賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。
- 続きまして、部会長の選任をいたしたいと思います。
- 資料1です。がん対策推進協議会設置要綱をご覧ください。

こちら2ページ目の第8の2におきまして、部会長は、座長の指名により選任すると規定してございます。

事前に、東京都がん対策推進協議会座長より、独立行政法人東京都立病院機構東京都立駒込病院名誉院長の佐々木委員を部会長に指名するということを事務局で伺っておりました。

ただ、本日、佐々木委員は急遽欠席というご連絡をいただいているところでございます。規程には代理等の専任の規定がございませんので、今回は事務局で司会進行を務めさせていただきたいと考えてございますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、東京都保健医療局医療政策担当部長の岩井が進行を務めさせていただければと思います。

- 岩井医療政策担当部長 改めまして、医療政策担当部長の岩井でございます。よろしくお願いたします。

議事に入る前に、がん医療部会は今回初めての開催となりますので、本部会で検討する事項につきまして、確認させていただきます。

では、事務局から説明をお願いします。

- 田村医療連携・歯科担当課長 では、事務局よりご説明いたします。

参考資料の1をご覧ください。

こちらは、東京都がん対策推進計画（第三次改定）の全体像を示したものとなっております。本部会では、Ⅱがん医療にあります取組項目のうち、主に、がん医療提供の充実を取り扱ってまいります。

緩和ケアや小児・AYA世代のがん医療につきましては、各ワーキンググループで議論してございましたので、後ほど簡単に資料のご説明をさせていただければと思います。

事務局からの説明は以上になります。

- 岩井医療政策担当部長 よろしければ議事に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

では、議事（1）東京都がんポータルサイトにおけるがん医療コンテンツについてです。ある程度分量がございますので、3回に分けて資料説明と質疑という形にさせていただければと思います。

では、まず事務局から説明願います。

- 田村医療連携・歯科担当課長 では、事務局よりご説明させていただきます。

資料3のスライド2ページ目をご覧ください。

こちらは東京都がんポータルサイトにおけるがん医療コンテンツについてのご説明の前に、まずは、今年度予定してございますポータルサイトのリニューアルについて、ご説明させていただきます。

都では、今年度、東京都がんポータルサイトにおける効果的な情報発信と利便性向上

のため、サイトの再構築を行うことを予定してございます。リニューアル時期は令和7年2月を予定してございます。

主な内容としましては、現在保健医療局のサーバー上にごございますサイトを外部サーバーへ移行することで、デザイン、レイアウト等の調整を可能とし、より見やすいサイトとしていきます。

また、検索機能やチャットボットなどの機能を追加し、都内がん診療連携拠点病院などの外部ユーザーに編集権限を付与することで、イベント情報等の周知を強化する予定としてございます。

参考資料2をご覧ください。

こちらは、現在のがんポータルサイトのリニューアルイメージの資料になりますが、左側が現在のポータルサイトのトップページになってございます。右側が、沖縄県のがん情報ポータルサイト「おきなわがん情報サイトみるん・しるん」のトップページになってございます。

先ほど申しあげましたように、外部サーバーへ移行することで、見やすいレイアウトや書式とすることが可能となります。

スライド2ページ目にお進みいただければと思います。

こちら、左側が現行のがんポータルサイトのコンテンツページで、右側が愛媛県のがん情報提供ページであります「がんサポートサイトえひめ」のコンテンツページになってございます。同じく、外部サーバーへ移行することで、イラストを挿入するなど、より自由度の高い編集が可能となります。

3ページ目にお進みください。

また、左側が今の東京都のポータルサイトでございますが、「病院を探す」の掲載画面になってございまして、右側が沖縄県のポータルサイトの病院検索の画面になってございます。

現行では、各地域や病院の種別ごとにクリックをすることで、その一覧が出てくるのみの内容になってございますけれども、リニューアル後は、こちら沖縄県のサイトのよように、検索機能や絞り込み機能などを追加する予定としてございます。

4ページ目にお進みください。

また、こちら左側が東京都のサイトのイベント紹介情報等の一覧ページになってございます。右側が奈良県のがん情報提供ポータルサイトの「がんネットなら」のイベント情報等の一覧ページになってございます。現行では、イベントの開催情報につきまして、都への情報提供があった順に並んで掲載されているのみなんですけれども、リニューアル後に関しましては、病院や支援団体にも編集権限を付与します。また、いつ、どんなイベントが開催されるか、月ごとで見られるような形のつくりとしまして、イベント情報の発信力を強化する予定としてございます。

資料の3に戻っていただければと思います。

以上が、がんポータルサイトの主なリニューアル内容になりますけれども、詳細につきましては、今後委託事業者と調整をしながら、リニューアル全体に係る内容につきましては、主にがんとの共生部会において議論していただきながら、進めていく予定としてございます。

また、サイトのリニューアルに合わせて、サイト内のコンテンツの見直しや新規追加にも取り組む予定としてございます。こちらのがん医療に係る内容につきましては、この後ご議論していただきたいと思っております。

なお、リニューアルに合わせて、サイトの認知度向上のためにも、広報も併せて実施していく予定としてございます。

ここで、緩和ケア、小児・AYA世代のがん医療についての各ワーキンググループの議論内容を簡単に報告させていただきたいと思っております。

参考資料4をご覧ください。

こちら緩和ケアにつきましては、10月3日に開催しましたワーキングで、見直し予定のコンテンツ及び新たに追加予定のコンテンツを中心にご意見をいただいております。

5ページ目の見直しのコンテンツですけれども、こちらは一般の方にとって都内の緩和ケア提供医療機関の情報は重要でございますので、重点的に取り組んだほうがよいというご意見をいただいております。

また、診療部や診療科目といった一般的な情報に加えまして、対応可能な疾患・治療内容、提供しているサービスなど様々な情報から、全国の医療機関を検索することのできるシステムであります「医療ネット（ナビィ）」に関しまして、今年度より運用が開始されてございます。がん患者への在宅医療を提供する医療機関の検索に、本システムを利用する予定ですが、その場合、検索方法について、詳しく分かりやすく記載する必要があるというご意見をいただいております。

また、6ページ目に新たに追加予定のコンテンツとしまして、緩和ケア地域移行に取り組む医療機関の取組状況や工夫、がん患者の緩和ケアのニーズ等につきましてはの記事をホームページに掲載したいと考えてございます。

緩和ケア地域移行に関する情報発信は重要な取組ですけれども、病院の選定や内容の妥当性に注意が必要というご意見をいただいております。

続きまして、参考資料5を見ていただければと思っております。

こちらは、10月23日に開催いたしました小児・AYA世代のワーキンググループの内容でございます。見直し予定のコンテンツ及び新たに追加予定のコンテンツを中心にご意見をいただいております。

5ページ目になりますが、見直し予定のコンテンツでは、患者向けの情報と医療者向けの情報は、ある程度分けた上で互いに見ることができる形が大事、また、患者向けの情報については、言葉を易しくして表題をつけてほしい、また患者向けの情報は分かり

やすい位置に掲載して、アウトラインの流れが分かるようにして欲しいとのご意見をいただいております。

6 ページ目の新たに追加予定のコンテンツですけれども、こちらは、患者向けのコンテンツ案としまして、学業継続や就労支援、親ががんになったときの子供への支援、兄弟支援に関する都の取組等は記載したらどうかといったご意見をいただいております。

では、資料3のスライド3ページ目に戻っていただければと思います。

こちらが、東京都がんポータルサイト内の現在の概要に関するコンテンツの一覧となっております。

本資料につきましては、項目ごとに掲載内容や整理案を記載しております。項目ごとに区切って、まずは質問やご意見をいただきたいと思いますので、上から順にご説明をさせていただきます。

まず、「がんって何？」というがんについて紹介したコンテンツ、

また、二つ目としまして、東京都がん対策推進協議会の情報を掲載したコンテンツとなっております。

こちらのコンテンツにつきましては、リニューアル後も継続して掲載する予定で考えております。

以上が、継続掲載予定のコンテンツとしてのご説明になります。

ここまでの内容で何かご意見等ございましたら、お伺いできればなと思います。

○戸井委員 よろしいでしょうか。戸井です。

○岩井医療政策担当部長 はい。戸井先生、お願いいたします。

○戸井委員 最後のスライドで、1日に5,000個のがん細胞ができると書いてあったと思うんですが、これは本当に正しいかというのがちょっと気にはなったんですが、細胞の異常は、それはもちろん起きてくるんですけど、がん細胞と言っていいかどうかというのは。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。今、現状こちら都のホームページに載せているコンテンツのタイトルというところになってございますが、もし内容を変える必要がある部分等があるようでしたら、見直します。

○戸井委員 もちろん、こういうがんの細胞生物学のご専門の人にお伺いしないといけないんですが、これ、定義そのものに引っかかる問題で、本当に5,000個の異常な細胞は、全部がん細胞かというのは議論があるようには思いますが、どうでしょう。

○田村医療連携・歯科担当課長 その科学的な定義に関しましては、情報を確認した上で、正確な情報を載せていければと思います。

○戸井委員 そうですね。はい、お願いします。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

では、これから、質疑入らせていただいているんですけれども、ご意見のある方は、Teamsの挙手ボタンでお願いいたします。

まず、若尾委員、お願いいたします。

○若尾委員 ありがとうございます。国立がん研究センターの若尾です。

まず、今くしくも、「みるん・しるん」と「がんサポートサイトえひめ」をご紹介していただいたんですが、ご紹介いただいたのは、がんの療養情報の普通のところで、この二つのサイトの特徴は、院内がん登録のデータを県内横断的に見せているというのが非常に特徴で、それもグラフを使って、県民の方に分かりやすい情報提供をしているところなんですけど、そのお話がない中で、「みるん・しるん」とか、あるいは「がんサポートサイトえひめ」を出されたということは、やっぱりそういう院内がん登録のデータの活用まで踏まえて出されたのかというのが1点目です。

それから、もう1点、3ページ目で、継続掲載として二つのコンテンツを提示していただいたんですけど、そのほかにもがんのコンテンツあると思うんですね。例えば、「がんって何？」の下にあるがんについての豆知識などは、本当医療コンテンツだと思うんですけど、ここで挙がっていないものは継続もしなければ、新規としても足さない、見直しもしないということで、ここに書いていないものは継続されないという理解でよろしいのでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。まず一つ目のご質問ですけれども、こちらの参考資料ですが、他県のサイトに関しましては、あくまでも、皆さんに比較対象として見ていただくためのものとして、例として提示してございます。ホームページのイメージとして提供しているということになってございます。

東京都の比較というところを出しているところになりますので、院内がん登録のデータを直接持ってくるころまではこの中では考慮してはいなかったところになってございます。

○若尾委員 逆に、これから病院の情報、病院選びをしていただくために、しっかりとその病院のアクティビティを示す。さらには、この後に出てきますけど、病院の役割分担を示すためには、院内がん登録のデータを横断的に都民の方に分かりやすく見せることは必須だと思うんですけど、今それは想定されていない。まさにこれは医療部会のテーマだと思うんですが、それは想定されていないということなんでしょうか。

○事務局（中村） すみません。東京都、中村です。聞こえていますでしょうか。

○若尾委員 はい、聞こえております。

○事務局（中村） 若尾先生、ご意見をありがとうございます。

今回お示ししたのは、先ほど課長の田村から申し上げましたけども、まずは、これは全体のイメージという形で取り上げさせていただきました。

今、若尾先生からお話に出た院内がん登録ですとか、全国がん登録ですとか、いろいろがん登録の情報があるかと思えますけれども、実際、今回この場では話題にはならないんですけども、当然そういった情報を含めて、情報提供していく必要があるとは考えておりますし、関係学会でもそのようなものがあるかと思えますので。

今回この場ではご提供はないんですけれども、今後はポータルサイトの充実も含めて、そういった内容も絡めた上で、情報提供のほうは考えていきたいと思いますので、今回そこまでの踏み込んだ内容にはならないかと思いますので。

○若尾委員 ありがとうございます。今回含まれていないということなんですけど、医療部会で検討するというところでよろしいですか。

○事務局（中村） 医療部会ですとか、もう一つ、拠点病院等の集まりである連携協議会ですね。そちらのほうとも意見交換しながら、がん登録の部分については詰めていきたいと思いますので、必要に応じて、この場でもお示しできるような形を取ればいかなというふうに考えてございます。

○若尾委員 分かりました。

2点目の質問についても、お答えいただければと思いますが。

○田村医療連携・歯科担当課長 今、そうですね。掲載しているものに関しては、基本的には落とさないで、削除はしないというところで考えてございます。

今回、この医療部会の中でお話しするものとしてピックアップさせていただいているものが、こういった二つにはなっておりますけれども、ほかの部会でもいろいろコンテンツ、それぞれの部会に関する内容としてご議論いただく中で、基本的には継続していくという中で、変えていくものは変えていきますし、あとはまた追加するというところで、基本なくすというところであまり考えていないところでございます。

○若尾委員 すみません。それで、特に医療部会ということで見直したんですけど、がんについての豆知識の中の間診から治療へというところは、まさに医療部会のテーマだと思いますので、本来であれば、ここに挙げていただくべきものだと思うんですが、何でこの「がんって何？」が上がって、これが上がらないのか。その辺のすみ分けをどのように考えられているのか教えていただけますか。

Q&Aがありますよね、豆知識として。セカンドオピニオンが出ているところです。セカンドオピニオンの周りに様々な間診の話、検査の話、生検の話、手術の話など書いてあって、医療そのもののことがまとめられているページがあるんですけど、それが医療部会ではないとどこでやるのかなというところで。

○田村医療連携・歯科担当課長 そうですね。今、ポータルサイトをつくる中で、それぞれピックアップする内容として、コンテンツの割り振りというところでやっていたところだったんですけども、今おっしゃっていただいた部分に関しまして、現状、項目として漏れていたとかという部分もあるかもしれません。確認させていただきます。

○若尾委員 はい。このような形で示されると、本当に落ちが分からないので、ちゃんと見直していただかないと、漏れがいっぱい出てしまうとすごく心配しておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

改めまして、整理したいと思います。

基本的に見直しですとか、今後、またこの後ご説明しますが、見直しとか、新たに追加以外の部分は、基本的に残していく方向にはなるかと思いますが、残していくものについても、またご意見等いただければと思います。

では、続きまして、山下委員お願いいたします。

○山下委員 はい。がんの子どもを守る会、山下でございます。

今の若尾先生のお話もそのとおりだと思いますし、ぜひ、お願いしたいと思うんですが、まず、個々のコンテンツの議論の以前の問題として、今までのポータルサイトで我々がいつもご指摘したのは、ともかくたどっていきにくい。

行きたい情報に行くのが非常に分からないし、一度見つけたものを戻れないときもあれば、どうやって行ったらそこに行くかというのが分かんなかったりすることも、特に小児がんのようにかなり細かいところまで行かないといけない場合は。

その辺は今までもご指摘したと思うんですが、ここで個々のもちろんコンテンツの議論というのも必要ですけども、その以前の問題として、全体のスキーム、ツリー構造というか、それをきちんと示していただいて。

ここに入り口があって、どこからどう行ってどこに行くと。それで、それぞれのこのコンテンツをここで議論すると、今、若尾先生が言われたような落ちがないようにというのも、その全体像が分かれば、ここが落ちているというのも出るんじゃないかと思うんですが。

ともかく、今示されていますけど、何かそれがまずないと、我々も部分的なコンテンツだけ拝見しても、全然全体のイメージがつかめないんで、ご意見の医学的な判断は別として、私はそれができませんけども、ご意見の申し上げようがないというのは実態だと思いますので、いかがお考えでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 すみません。全体的なサイトのイメージの構築に関しましては、共生部会で、ご議論していただいているところになってございます。

それぞれ膨大な量がございますので、各コンテンツに関しては、こういった部会ごとで、ご議論していただいているところになっていて、確かに、この部会では全体のイメージは、今回はお示ししていないところなんですけれども。

○山下委員 共生部会で検討されるのは、それは結構なんですけど、その検討で出されたものをこの部会にまず、その中のこの部分だということをやっぱり示していただかないと。全く自分たちの立ち位置が分かりません、これでは。

○田村医療連携・歯科担当課長 そうですね。共生部会にお示しした資料を今掲示させていただければと思いますので、ちょっとお時間いただければと思います。

○山下委員 はい。

○田村医療連携・歯科担当課長 すみません、もう少しお待ちいただければと思います。

○事務局（貴島） すみません。東京都庁の貴島と申します。いつもお世話になっており

ます。

今見ている画面のほうで、今回、がんポータルサイトのリニューアルに関しまして、業者さんをご相談させていただいております、サイトマップで全体像の協議だとか、あとトップページ等のイメージのところを今、まさに調整しているところであります。

表示画面がちょっと小さくなってしまって申し訳ございません。

今、サイトマップ案ということで、改修後のイメージをお示ししております、その内容につきまして、また今後、ユーザーテスト等も踏まえまして、さらに整理をしていきたいなと思っております。

今掲載されているサイトマップについてかなり煩雑としているような状況だったりもするので、ここを整理させていただいて、かつ、コンテンツごとの内容につきましても提議をさせていただき、より分かりやすくしていきたいと思っております。

実際にその確認作業が、11月中になっておりますので、恐らく、大卒の全体像につきましては、12月上旬頃に、こちらのほうで準備ができるかと思っております、また医療部会の皆様につきましても、そういった現在の追加、修正部分につきましても、情報提供できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上となります。

○山下委員 今拝見しているものだけでは、ちょっとイメージがまだ湧きかねますので、ぜひ、いわゆるツリー構造の全体像が分かるようなものを示していただいて、その上で個々のコンテンツについてディスカッションしていくという流れをつくっていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○事務局（貴島） かしこまりました。どうぞよろしく申し上げます。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

続きまして、大井委員お願いいたします。

○大井委員 がんサポートコミュニティの大井です。

先ほど来の若尾委員、それから山下委員のご指摘のことも踏まえてになりますけども、若尾委員がおっしゃられたように、登録のデータが、患者さんにとってどういった治療がどこの病院で行われていて、どういった症例になっているのかということは非常に興味があると思っております。それらは自分の治療選択において非常に重要な情報になってくるかと思っておりますので、それは今後検討していただきたいと思っております。

それから山下委員がおっしゃられたように、構造が分からないということの前に、何を東京都として医療の内容として組み込むのかというのは、例えば「がんって何？」というところですが、これは国立がん研究センターのポータルにも載っていて、Googleで検索すると、国立がん研究センターが一番上に出るんですよ、今。

そうすると東京都というのは、まず一番上に出て来ないということになってくると、そういった情報を掲載する意味があるのかと思っております。海外のアメリカの場合は、NIHのそういうがんに関してのページに各州の大概のものは飛んでいるんです。それから

イギリスの場合は、N C R I のがん研究機構のサイトのところに飛ばしているとか、そういう共通の情報をわざわざ東京都でつくる必要があるのかということに疑問があります。

東京都ならでは、その患者さんにとって必要な情報は何なのかということ、医療の情報として何が必要なのかということ、ぜひ集約いただいて、せっかくリニューアルするというのであれば、その議論があって、いただけたらと思います。

この資料では何か一般国民全員を相手にするようなサイトを想定されているのか、それとも、患者さんの例えば、どういう段階の患者さんをターゲットにして、このサイトの入り口で何が出来るのかということ、ぜひ整理していただきたいと思います。初めて診断された方、それから再発転移された方とか、入り口をしっかりと決めていただかないと、このままで行くと何か一般的ながんを知りましようみたいな、がん教育の窓口みたいな情報のサイトに、今の掲載継続という部分だけを見たらなるかなと思います。

ぜひ、医療ということで検討をこれからしていくんだということであれば、どういった患者が対象となるのか、どういった人たちがこれを見るのかということと、一般的ながんの情報を各県が同じようにつくっていても、恐らく、新しい情報とタイムラグができて、国立がん研究センターと違うじゃないかという質問が来たりしても困ると思います。

ぜひ、それは国全体として、これが日本としてのがんの情報ですよということをリンク先として整理するとか、何かそういった形で他のところの情報でも共有で使える情報は使うという形で整理の仕方はできないのでしょうか。

- 田村医療連携・歯科担当課長 はい、そうですね。この後説明する予定の新たに追加予定のコンテンツなどでは、基本的にはそういう形で、都のほうでコンテンツをつくるという形ではなく、もう既にある外部のコンテンツにリンクを貼るということをメインに考えているというところになってございます。

ですので、ちゃんとしたサイトに飛べるようなことを考えているというところになってございます。

- 大井委員 ありがとうございます。

ぜひ、そういった形で共有の部分はほかの資源を活用するとか、東京都の都民にとって必要なものというものを優先して整理していただいて、特異性というものを見せていただけたらと思います。

ありがとうございます。

- 岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

佐野委員、お願いいたします。

- 佐野委員 はい。がん研の佐野です。

ちょっと今日の議論の本質から少しずれるかもしれないんですけど、先日、今日も出られている秋山さんのマミーズの会に出た後、そこで一生懸命に患者さんのサポートの



センターをとというのが、今もうフラッグのように立っている。

それもととても大事なのではないのかなと思いますので、これまでのところを、どこを残し、どこを切るのかといったときに、先ほど提案がありましたように、基本的なところは、国がんの情報サイトに飛ぶような、そういう仕組みがつくれて、東京都ならではの工夫があればなというふうに思うんです。そういう意味では、沖縄県の最初の画面のイラスト付の何が知り、知りたいかという、それがはっきりした表示のほうがいいのではないのかなとちょっと思いました。

以上です。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

○田村医療連携・歯科担当課長 相談支援センターの周知に関しては、資料3には出していないんですけども、今、動画を作ってございまして、12月に広報する予定としてございます。

その中で相談支援センターの周知と、また情報知りたい場合に関しましては、東京都のがんポータルサイトを検索してくださいといった、そういった1分程度の動画を今作ってございまして、それを今後、YouTube等で流していく予定はしてございます。

そういった広報というか、周知を図っていくところではございますので、今後そういった実際に流す段階になりましたら、情報提供できればと思っております。

○岩井医療政策担当部長 秋山委員、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

若尾委員、お願いいたします。

○若尾委員 すみません。一言だけ、先ほど佐野先生からご指摘のあったがん情報サービスから東京都のポータルサイトのリンクを貼っていますので、各都道府県別に、がんのサイトはここにありますがというリストがあって、先ほどチャットにも貼りましたが、その辺はできていますけど、なかなかそこにたどり着かないという課題もあります。

以上です。すみません、何回も。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

では、続きまして、国立成育医療研究センターの松本委員、お願いいたします。

○松本（公）委員 はい、ありがとうございます。成育の松本です。

私、なぜかよく分からないんですけど、LINEで東京都と友達になっているんですね。そこのお友達になっているところを見ると、東京都のいろんなナビがあって、医療、健康というところをクリックしても、がんの「が」の字も出てこないんです。

コロナのことは四つ、五つ出てきます。あと、医療機関、薬局とか、あるいは救急受診ガイド、健康づくりガイド、受動喫煙に対する取組というのはリストでバーッと出てくるんですけど、がんの「が」の字も出てこない。

だから、今回これ、東京都のポータルサイトというのがリニューアルされたら、ぜひ、今でもいいと思うんですが、こういうせっかくのSNSなのに、そういうところをぜひ

ご活用いただければというふうに常日頃思っていたので、少し議論から外れておりますが、言わせていただきました。ありがとうございます。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

東京都のLINEにも情報を流せるかどうか、確認をさせていただければと思います。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

では、続きまして、小平委員お願いいたします。

○小平委員 はい、ありがとうございます。

私、二つちょっと確認してみたいところがございまして、一つは、これ対象となるのは、もちろん患者さんや、そのご家族ということもおありになるんでしょうけれども、やはり連携する医療機関。医師、医薬、それとか、介護を含めた対象というのを想定されているのかどうかということが一つあります。

もう一つの質問は、今後これは参加型、少し情報を外部から入れてもらうというようなことですばらしいサイトになるんじゃないかなと思うんですけども、これはそうすると、先ほどもコンテンツ内容についての疑問がありましたけども、情報のアップデートだとか、コンテンツラインの精査だとか、さらに言えば、インターフェースを少しどんどん変えていくとか、そういう管理というのは、すごい日々継続していかなくゃいけないものになるんじゃないかと思うんです。

これを誰がやって、その管理者は誰なのかというのが、やっぱり明確になっていないとうまくいかないのかなと。多くの部会が関わっていますので、非常に大変かなと思うんですけど、この辺り、どう考えておられるのか、教えていただければと思います。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

まず、1点目ですけれども、確かに、情報に関しましては患者・家族向けの情報と、あとは医療機関向けの情報が、ポータルサイト内には主にあるかと思うんですけども、そちらに関して、入り口を分ける形を考えてございます。

トップページのところで大きく、まずは患者・家族向けというところの入り口から入っていただくのと、もう一個、医療機関向けという入り口から入っていただくというところで、そこに入っていただければ、さらにその中に細かいそれぞれのコンテンツがあるみたいな、そういうイメージで、今考えているところがございますので、そういった流れで区別できればなというふうに考えているところです。

また、管理者の部分に関しましては、外部サーバーで、このコンテンツを管理していくんですけども、基本的には、東京都の職員が情報管理していく形になります。

適宜、情報の修正等はしていく予定ですし、また、外部団体等に権限を付与するということですが、全部の権限を付与するわけではなくて、一部権限を絞った形で、研修会の情報の部分に限って、ある程度修正できるような形での権限付与というところを考えているところになります。

○小平委員 小平です。ありがとうございます。

対象を明確にするというのは非常にいいことだなと思いますので、お願いします。

また管理に関しては、非常に大変かなと思うので、チームみたいなものをつくっていただいて、頑張ってもらっていただくということになると思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

では、小嶋委員お願いいたします。

○小嶋委員 はい。よろしくお願いします。

私がちょっと疑問に思ったことは、今、小平先生が聞いてくださったので、家族の視点、患者の視点で、調べたい内容が違ってくるんじゃないかなと思いました。

やっぱり皆さんの意見から出ているように、このポータルサイトの認知度が臨床の場でもかなり低いです。つい先日も、ご家族から東京都の緩和ケア病棟の一覧はどこかに、院内に印刷したものはありますかということをお問われていて、こういったサイトのことの認知度がすごく日頃から低いなと思っていたのと、やはりこの見にくさというのは、私がスマートフォンで見えても、なかなかたどり着けないのは、本当に感じます。

最初に若尾先生が言ってくれたセカンドオピニオンは、私、昨日何か調べていて見つけたんですけども、今、もうどうやったらたどり着くか分からない状態になっているので。例に載っているような、私も沖縄県のタグがあるようなサイトはすごく見やすいと思ひまして。まず、本当に患者さん家族が使いやすいような、あとスマートフォンで簡単に検索できるようなものが作り上げることができたらいいなと思いました。

以上です。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

スマートフォンに関しましても、今、パソコンから見えるホームページの構成と、またスマートフォン用の画面構成というところで、専属で見られるような画面構成もつくることで、業者と今、打合せは進めているところですので、スマートフォン用で見やすいサイトを別途構築していきますので、考慮はしているところになってございます。

○小嶋委員 高齢者の視点でお願いします。高齢者がスマートフォンを使いながら調べる視点で、ぜひお願いしたいと思います。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。分かりました。

あと、先ほどのセカンドオピニオンの検索等に関しましても、こちらとしても、検索の上位にセカンドオピニオンが上がってきているところは把握してございますので、検索件数が多いコンテンツについては、比較的上のほうでアクセスできるような構成というところは考えているところになります。

○岩井医療政策担当部長 委員の皆様、ご意見をありがとうございました。まだこの後、ご説明の資料がありますので、一旦そちらのほうに進ませていただきます。

では、事務局から説明をお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 では、引き続き、事務局から説明をさせていただければと思います。

スライドの4ページ目になります。

こちらが見直し予定のコンテンツとなっております。

まず、各種病院の概要を紹介するコンテンツです。コンテンツ名を「都内のがん医療提供体制について知る」という形に変更しまして、検索機能や絞り込み機能等を追加したいと考えてございます。

こちらに関しては、参考資料3をご覧くださいければと思います。

こちらが、病院検索のイメージになってございます。

病院ページにつきましては、成人と小児で掲載項目が若干異なっておりますので、まず、成人からご説明いたします。

1ページ目から5ページ目までが成人になってございまして、まず、表示のイメージになってございます。掲載情報は青枠に記載されている内容を予定してございます。

掲載情報につきましては、医療機関側の作成の負担を考慮しまして、原則としまして、がん診療連携拠点病院の指定更新のために、国や都へ報告する現況報告書の情報から抽出することを予定してございます。ただ、報告書にない一部の項目については、別途調査を行う予定としてございます。

また、2ページ目の「医療関係者の方へ」の項目では、地域の医療機関も本ポータルサイトを活用されていることを踏まえまして、患者さんのご紹介方法ですとか、連携医療機関、登録医制度のご案内を外部リンクにて掲載することを予定してございます。

スライド6ページ目以降は、小児の病院の情報となっております。

基本的なページ構成は成人と同じなんですけれども、現況報告書の情報をベースとしまして、別途調査により一部情報を追加する予定としてございます。

ただ、成人と対応領域が異なっている点や報告書の調査項目が異なっているところがございまして、7ページの「がん相談・支援概要」や、8ページの青枠の「診療状況の掲載内容（案）」の内容につきましては、小児の病院ページ用に構成を変えた形としてございます。

資料3にお戻りいただければと思います。

次に、東京都がん診療連携協議会の情報を掲載したコンテンツになってございます。

現状は、組織図のみが掲載されているコンテンツとなっておりますけれども、継続掲載にあります東京都がん対策推進協議会に合わせまして、会議資料なども一緒に掲載したいと考えてございます。

次に、セカンドオピニオンに関するコンテンツです。

こちらに関しましては、今階層が深いところにあるので、なかなか探しにくいというところがございまして、階層を上げてアクセスしやすく、分かりやすくすることで、

内容を充実させていきたいと考えてございます。

以上が、見直し予定のコンテンツについての説明になります。

ここまでにつきまして、ご意見等がございましたら、お伺いできればと思います。

○岩井医療政策担当部長 では、若尾委員お願いいたします。

○若尾委員 はい、ありがとうございます。若尾です。2点、ご指摘させていただきます。

まず、病院の概要について、ここに示されているのは、あくまでリーフ画面であって、一番大事なのは検索の画面と検索結果を表示する画面で、それがないと患者さんがどういうふうを探すのか全く見えないというのが、まず1点目です。

だから、リーフはある情報が含まれているんで、それはそれで大事なんですけど、その前にどう探すかというところを考えた上で、検索画面を設計することが大事だというのが1点目。

さらにこのデータ元は、現況報告を使うというお話だったんですけど、これはもう国の審議会でもいつも話題になっているんですが、結局、現況報告の必須項目を満たさないと落とされるんで、みんなできないことも含めてできると言っているんですね。

現況報告のデータというのは当てにならない。まさに、それを使ったらみんなできる、できる、できる、で全く意味のない検索とデータベースになってしまうというのが2点目です。

あと、もう一つだけ、ごめんなさい。診療連携協議会のページで組織図があって、これから議事録を載せるということで、これは大事なんですけど、逆に一つ戻ってしまうんですけど、がん対策推進協議会が、今、議事録、会議録しかなくて、どういう部会の構成とか、そういう資料が全くないですね。

この協議会は何をする部会で、何のためのもので、誰が入っているという情報なしに会議録ばかり並んでいて、だから、これは診療連携協議会を直すだけじゃなくて、がん対策推進協議会も直さないといけないということです。

以上です。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。ありがとうございます。

そうですね。検索に関しましては、もう既に、これはもう検索後の画面になってございますけれども、先ほども説明させていただきましたように、検索するところをまずつくるといところはございます。

ですので、患者さんのページのところからすぐ検索できるような形にしていくようにしてございますので、そこの画面を今回お示しできませんで、申し訳なかったなと思っております。

あとは、情報の信頼性というところに関しましてですけれども、こちらで出ている情報が本当に正しいかどうかというところは、なかなか精査ができないところがございますので、上がってくる情報をこちらとしては、信頼するしかないのかなと感じているところでございます。

あとは、協議会の情報に関しましては、いただいたご意見に沿いまして、改善を図っていきたいと考えているところです。

○岩井医療政策担当部長 若尾委員、よろしいでしょうか。

○若尾委員 そうですね。情報の信頼性についても仕方ないということなんですけど、仕方ない情報をつくるのに、すごく労力とコストをかけてやるかということも含めて、検討していただかないといけないと思います。

本当につくるんだったら役に立つものをつくらないと意味がない。いろんなエフォートが無駄になってしまうと。それを本当にやるんだったら、ちゃんとしたものをつくらないといけないというのが私の意見です。

以上です。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

山下委員、お願いいたします。

○山下委員 はい。がんの子どもを守る会の山下です。

今の資料3の1の2で、東京都のがん対策推進協議会というので入っているわけですが、その次のページで診療連携協議会が入っていますけども、小児・AYAがんの診療連携協議会については、どうされるのでしょうか。ここと並列にして入ってくるのでしょうか。それが一つ。

それからもう一つは、先ほどの個別の病院の資料がありました、参考資料のところにもありましたけども、小児については今、都立小児総合医療センターの例が入っていますが、その2ページ目、ブルーのところ、連携医療機関（外部リンク）とありますけども、この範囲に、つまり都立小児と同じレベルでやる病院と、都立小児は拠点病院なんで、それ以外の連携病院で、先ほど申し上げた診療連携協議会に入っている病院は連携機関として扱うのか、診療連携協議会に入っている病院は都立小児と同一に扱うのか、どうなんでしょう。

私の考え方としては、同列に扱っていただくべきだろうというふうに考えております。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

事務局からいかがでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。まず、小児の協議会ですけれども、こちらに関しましては、小児・AYAのコンテンツのところ載せていく形で考えてございます。

○山下委員 資料5は拝見したんで、そこに書いてあるのは分かっていますが、これも結局、先ほどの話じゃないですけど、どういう位置づけでこれが出てくるのかが分からないので。

やはり全体の推進協議会があって、その下のがんの診療連携協議会、それから小児がんの連携協議会というそういう位置づけは、やっぱりはっきり分かるようにしたほうがいいんじゃないかと私は思っております。

全体像の中でご検討ください。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。ご意見ありがとうございます。検討させていただければと思います。

連携医療機関ですけれども、参考資料3の7ページの小児のところ、医療機関の関係者の方へ、掲載情報の案のところの連携医療機関というところに関するご質問かとは思いますが、こちらに関しましては、それぞれの病院が、どこと連携しているかというところの医療機関として、その外部リンクを貼っていくというようなことを考えてございます。病院によって、連携している病院が違ってくると思います。

○山下委員 ということは、小児・AYAの診療連携協議会に入っている病院は、並列に入ってくるということですね。

○田村医療連携・歯科担当課長 そうですね。当然、そういった形で入ってくると。

○山下委員 全部で今、拠点も入れて15入ってありますけれども、それぞれみんな濃淡はあっても、同レベルの診療をされているというふうに理解していますので、ぜひ、それは入れていただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

今の部分につきましては、ほかにご意見等よろしいでしょうか。

では、続きまして、資料の説明に入りたいと思います。事務局からお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 引き続きまして、資料3についてご説明させていただきます。5ページ目をご覧ください。

こちらが、新たに追加予定のコンテンツとなっております。

それぞれの項目につきまして、簡単に紹介文を記載の上、詳細を知りたい方向けに関連サイトのURLを掲載する予定としてございます。

参考としまして、関連サイトのURLを記載している状況でございますけれども、これはあくまでも現在の一例でございますので、これをそのままこれから掲載するという形ではございません。精査しまして、新たに他のサイトも追加するとか、そういったところも考えてございます。

都では、既存の有用なコンテンツが多数あるというようなご意見もいただいておりますので、そういったところのコンテンツも参考に掲載したいと考えてございます。

まず、がん予防・検診についてのコンテンツになってございまして、こちらは「東京都がん検診支援サイト」や、「T O K Y O # 女子けんこう部」といったサイトの紹介を併せまして、予防や検診の概要についても触れながら、スムーズにアクセスできるようにしたいというふうに考えてございます。

次に、がんと診断されたらというコンテンツにつきましては、国立がん研究センターの内容を参考に、がんと向き合い方やがん相談支援センターなどの都内の支援先について、分かりやすく記載したいと考えてございます。

次が、がんのリハビリテーション・口腔ケアについてのコンテンツですが、こちらは、

国立がん研究センターや日本歯科医師会の掲載内容を参考に、がんやがん治療に伴うリハビリテーションの必要性や口腔ケアについて、記載したいと考えてございます。

次に、がんゲノム医療についてですけれども、こちらも、国立がん研究センターの掲載内容を参考にしまして、がんゲノム医療に関することや都内のがんゲノム対応医療機関について、分かりやすく掲載したいと考えてございます。

続きまして、スライド6枚目ですが、希少がんに関する基本的知識についてのコンテンツになります。こちらも、国立がん研究センターの掲載内容を参考に記載したいと考えてございます。

最後は、支持療法ですけれども、こちらも、静岡がんセンターでしたりとか、国立がん研究センター、また日本頭頸部癌学会などの掲載内容を参考にしまして、記載したいと考えているところになります。

以上が、新たに追加予定のコンテンツになります。

ご質問等ございましたら、ご意見いただければと思います。

○岩井医療政策担当部長 では、若尾委員、お願いいたします。

○若尾委員 はい。がんセンターの若尾です。ありがとうございます。

まず、1点目は大したことではないんですけど、今日の参考資料1で、がん予防は医療部会の責任範囲ではないと、所掌範囲ではないと書いてあるんですけど、どうしてここで予防と検診が出てくるのか、非常に矛盾を感じました。その説明がもしあれば、お願いしたいということ。

あと、先ほどから議論があるんですけど、東京都のポータルサイトとして提供しないといけないのは、東京都で患者さんが医療機関を探すための情報であって、例えばリハビリテーションとか、口腔ケアとか、支持療法について、総論が書いてあっても全く、あまり意味がなくて。

東京都のがん計画を改めて見直したら、患者にとってニーズの高い支持療法を把握して、がんポータルサイトで周知してアクセスをすると、どこで支持療法が受けられるという情報をポータルサイトで提供するとあるんですけど、その部分が、今日の資料では全く欠如しているんですけど、総論だけじゃないですよというのが確認です。

以上です。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい、そうですね。まず、予防、検診についてですが、確かに、予防に関しましては、所掌の範囲では確かにないところではございますが、ポータルサイト自体に関しましては、予防に関するコンテンツも、必要というところがございまして、ここでご紹介しました。

医療部会ではなかったというご指摘に関しては、そのとおりにかなとは思いますが、がんの予防の検診等を行っている部署と、また改めて相談しながら、コンテンツの内容を載せることを考えていきたいと思ってございます。部局はまた別というところがございまして、検討させていただければと思います。

支持療法についてですけれども、確かに、これに関しましても、医療機関の情報について載せることに関しては、両方検討させていただければと思っております。

○若尾委員 検討というか、もう計画で書かれていることですので、検討するというレベルの話ではないと思います。それを考えるのが、この医療部会じゃないんですか、あるいは診療連携協議会かもしれませんか。

載せる、載せないの話は、もう計画をつくった段階で決まっていて、どう載せるかというところじゃないんですか。

○田村医療連携・歯科担当課長 分かりました。そういったところ、必要な医療機関の情報につきましては、こちらのコンテンツで載せていくということにしたいと思っております。

○若尾委員 お願いします。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

戸井委員、お願いいたします。

○戸井委員 はい。ありがとうございます。

直接関係するお話ではないんですが、例えば対話型のAIとか、そういったものを、どこかと今後開発していく。例えばマイクロソフトとか、そういったところを開発していくというようなお考えはありますでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。こちらに関しましては、最初のところにも書いてはいるんですけども、チャットボットというものを機能として掲載していく予定でございますので、そちらに必要な、聞きたいことを入力していただくと、これに反応して回答が出てくるような、そういった機能は載せていく予定としてございます。

○戸井委員 それは学習するタイプのものなんですかね。

○田村医療連携・歯科担当課長 AIというようなものになってくるのかなとは思いますが、そこは今、業者と内容を詰めているところでございまして、どこまで学習機能が持たせられるかについては業者と調整が必要になります。

○戸井委員 先ほど来のいろんなコメントやご質問等を聞いておりましたが、非常に多岐にわたって、今後ますます深くなってくるわけですから、方法論というの、少し本当に考えたほうがいいのかという気がしておりましたので、ちょっとコメントしました。もちろん、今すぐということではございません。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。ありがとうございます。

検索機能についても、最初載せた後、また改善等も可能かと思っておりますので、そこについては対応していきたいと考えてございます。

○岩井医療政策担当部長 では、松本委員、お願いいたします。

○松本（公）委員 はい。国立成育医療研究センターの松本です。

今回、この六つの新たに追加予定のコンテンツという点に関しては、大きな異論はないんですけども、問題は、どなたが書かれるかというところが一番大きな問題ではないかというふうに思っています。

今ここに参考サイトがありますが、この参考サイトを参考にされて、もし事務局の方がつくられるというのであれば、これはちょっといかがなものかなというふうに思うんですが、その辺りの専門家の意見といいますか、コンテンツを一体誰が作るのかという点に関しては、何か事務局の方でご意見はございますでしょうか。

○事務局（中村） すみません。中村です。お世話になります。松本先生、ご意見をありがとうございます。

今、基本的にはコンテンツ、既にあるものを貼っていく中で、そのリードとして、簡単に事務局で文章を書こうかなと今考えておりまして、できれば、それをどなたかに監修というか、見ていただくようなことを今考えています。ただ、まだどなたかというところは、まだ決めてない状況ですね。

ただ、それでも事務局が書くよりも、専門家をお願いして書いていただいたほうがいいんじゃないかということであれば、それも一つ考えなきゃいけないのかなとは思いますが、なかなか先生方がうまく捕まるかどうか、どなたをお願いするかということもありますので、もし専門家に頼んだほうがいいということであれば、その辺はまたご相談させていただければなど。

もしくは、この場ではちょっと難しいかもしれませんが、また、この部会の先生方にご相談させていただこうかなとは考えてございます。

○松本（公）委員 ぜひ、東京都ならではといたしますか、きちんと東京都には、やはり役者がそろっているというふうに私は考えておりますので。

その道のプロの方に、ある程度は見ていただく、あるいは、その方に書いていただくということが、やはりいいのではないかとこのように考えておりますので、意見させていただきました。ありがとうございました。

○事務局（中村） ありがとうございます。

そうですね。ぜひ、専門の方をお願いしたいなと思っておりますので、場合によっては連携協議会のほうですかね。そちらにまたお願いする形で、先生方はいっぱいいると思っておりますので、それでまたご教示いただければと思います。ありがとうございます。

○岩井医療政策担当部長 では、山下委員、お願いいたします。

○山下委員 はい。がんの子どもを守る会、山下です。度々すみません。

先ほどちょっと小児・AYAがん連携協議会の話のときに、お伝え忘れたんですが、現在、小児・AYA連携協議会の情報というのは、事務局が都立小児だということがあって、都立小児のホームページになるんですよね。

これ今度は、どういうふうにするんでしょうか。今、やはりどうしても別々なんで、考え方がそもそも別々になっちゃっていますし、これは統一するのであれば、やっぱり一つにまとめて、事務局はどうであれ、やっていただいたほうがいいんじゃないかと思うんですが、その辺はどうお考えでしょうか。

○事務局（中村） 中村です。山下委員、ありがとうございます。

おっしゃるとおり、今東京都は全然載っていないくて、そういう相談が出ているということで、度々委員からご指摘いただいているところで、そこを早く何とかしなきゃいけないかなと思っております。

まだ小児総とは打合せ等をしていないんですけれども、できたら、がんポータルサイトで、その情報は一本化したいと考えていまして、小児総から、こちら側に飛んでもらうような形を想定しておりますけれども、そこはまた小児総とお話をさせていただいて、この両方とも出るような形じゃないような、一本化するような形にはしたいと思います。

○山下委員 そうですね。ぜひ、お願いします。

どうしても小児総合のほうを見ると、そこの一部というふうにしか見られなくなっちゃうんで、やはり全体の中に組み込んでいただくのがいいんじゃないかと思います。よろしくお願いします。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

若尾委員、お願いいたします。

○若尾委員 ありがとうございます。何度もすみません、国立がんセンターの若尾です。

こちらで今、希少がんのことが書いてあるんですけど、東京都の計画を見ますと、希少がん・難治がんと書いてあって、ここに難治がんのことが書いてないです。計画の中では役割分担を決めて、それで各拠点病院等における診療実績を東京都がんポータルサイトにおいて、都民に対して分かりやすく発信していくとありますので。

まさに院内がん登録のデータを使うということも計画に書かれているんで、まだ決まっていないとか、そういうレベルの話じゃないんで、計画をやっぱりもう一回読み直していただいて、都の方は全部頭に入っていると思いますけど、それで今日の会議を開かないと、何か振出しに戻っちゃっている感があるんで。

その辺の、まず、じゃあ難治がんの話と、がんの診療実態についてどうやるのかということ、もし今の時点で教えていただければ、お願いします。

○田村医療連携・歯科担当課長 そうですね。希少がんだけじゃなくて、難治性がんに関しましても、入れていければと思います。

院内がん登録のデータの活用に関しましても、できる限り対応できればと考えてございます。

○若尾委員 これも、できる限りじゃなくて、計画に書かれていることですので、それで都民に対して分かりやすく提示すると計画に書かれている。そこをもう一回見直していただいたほうがいいんじゃないですかね。

もしかして担当がガラッと変わって、計画をつくった方がいらっしゃらないとか、そういう状況ではないと思うんですけど、もっと計画に立ち戻って、都としてやるべきことを整理した上で、今日のような検討会に臨んでいただきたいと思います。

○岩井医療政策担当部長 ご意見をありがとうございます。

ちょっとホームページ、リニューアルいたしますポータルサイトの中で取り扱う情報等につきまして、整理等が不十分だった面がございまして、おわび申し上げます。

本日いただいた意見も踏まえて、また委員の先生方にもご説明させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○若尾委員 よろしいですか。終わりそうなので、もう一言。あと3点。

これ今、よろしいですか。新たに追加する情報の中に入らないもので、入れていたほうが望ましいと思われる情報を三つ挙げさせていただきます。

一つは、臨床試験の情報ですね。やっぱり都民の方が治験を探したりするのに、東京都の中で治験を受けたいと。その情報について、これは計画にも記載がないんですが、やっぱりあったほうがいいのかというのが1点目です。

それから2点目として、東京都は小笠原諸島を持っていて、離島がありますが、今のポータルサイト及び今の計画に、離島に対する対策が見つけられませんでした。やっぱり、離島の方が今の島の中でどういう医療が受けられて、どういうものが受けられなくて、例えば本土まで行かないといけないというような情報を離島の方、小笠原の方に出すことが必要で、あと、その病院はどこが担当する、もしかすると駒込が担当するのかもしれませんが、そういう情報を離島の方に見せるようにすることが大事。

今、チャットに貼りましたが、沖縄の「みるん・しるん」ではなくて、「がんじゅう」というサイトの中には、離島を対象として、この島で受けられる医療はここまでです。例えば放射線治療は、沖縄本島に行ってください。うちでは化学療法はできますという、そういうことがちゃんと情報提供されているんですね。それはやっぱり東京都も島を持っている。これはまさに、計画の誰一人取り残さない計画を実行するには、その情報が必要だと思いました。

それからもう一つ、これは共生の中に書かれていることで、所掌ではないと言われてしまうかもしれないんですけど、情報提供の中で科学的根拠に乏しい情報への注意喚起をポータルサイトでしていくと書いてあります。

一方、だから科学的根拠のない情報提供をするには、科学的根拠がある医療がどういうものかという説明が必須で、それはやっぱりこの医療部会で作るべきものかなと思いますので、もしかすると、それも含めて共生で作るのかもしれませんが、やっぱりそうすると医療部会は何やるのということになると思うので。

やっぱり医療の三大療法とか、チーム医療とか、そういうところの情報が今ないのかなと思ったところです。だから、その辺もぜひ追加を検討していただくのがよろしいかと思えます。

以上です。どうも何回もすみませんでした。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

今の若尾委員からも、新たに、私ども事務局で提示した以外に追加したほうがいいコンテンツについてご意見いただきましたが、ほかの委員の皆様から、何か新たに追加し

たほうがよいコンテンツ等がございましたら、ご意見を頂戴できますでしょうか。

○岩井医療政策担当部長 吉澤委員お願いします。

○吉澤委員 はい、すみません。ポータルサイトの中に、ACPの話は、結構載るんでしょうかね。

というのは、ここに参加されているがん専門病院の先生のところからご紹介いただく患者さんは、結構、予防予測も正確で、患者さんの思い、家に帰りたいという思いがあったら、結構ADLを残した段階で帰っていただけるんですけど、なかなかいろんな大学病院なんかの各拠点病院でも、なかなかACPが不十分で、本人の思いが伝わっていないというケースが、結構見られるんです。

それと予防予測が結構曖昧。あと、余命は二、三か月ですと言ってありますというって、うちに来て1か月もしないで、2週間ぐらいで亡くなっちゃうというケースも結構あって。ACPに関しては、患者さん家族の側だけじゃなくて、実際、医療者側にも十分それを広めていただきたいと思います。

東京都で作った私の思い手帳がずっとあるじゃないですか。あれをうちでは東京都から200部ぐらいもらいまして、患者さん家族に配って、それでそういう説明会をやったり、それと実際の患者さんに渡して、紹介されてきたときに初診でそれを渡して、今どういうふうにしたいということを書いてもらったりしている。

ただ、この私の思い手帳というのは、どちらかというと緩和ケアで終末期の患者さんの内容が多くて、抗がん剤をどうしたい。どういうふうにやりたい。なかなか、先生から次これ、次これと言われたときに、つらくても断れないという患者さんも結構いらっしゃって、その辺、ポータルサイトで何か書かれているところはあるんですかね。それが聞きたかったんですけど。

○田村医療連携・歯科担当課長 ご意見をありがとうございます。

今のポータルサイトの中で、ACPに関することはないかなと思います。

東京都として在宅医療療養を進める中でこういったACPの取組は、同じ部の中で別の担当が実施しておりまして、さっきもありました私の思い手帳などを作ったりもしていますので、そういった情報につきましては、こちらのほうでコンテンツをつくるという形ではなくて、そちらの情報にはリンクを貼るなりして、情報提供する形にはなるかなと思います。

○岩井医療政策担当部長 よろしいでしょうか。

今、あと若尾委員から私の思い手帳のリンクが、チャットでお送りいただいております。ありがとうございました。

では、松本委員、お願いいたします。

○松本（公）委員 はい。ありがとうございます。国立成育医療研究センターの松本です。

先ほど来、何回も出ているんですけども、やはりこのポータルサイトですね、リンクをしっかりとっていただきたいというのが一つあります。リンク、特に国立がん研究セン

ター、そして小児がんでしたら、例えば私どもの国立成育医療研究センターの情報公開のページ等ございます。

いろんなページがございしますが、先ほど来の、ここで今、若尾委員が挙げていただいたようなサイトというの、非常に重要なサイトだというふうに思っておりますので、ぜひ、リンクを充実していただきたいと。

そして、誤った情報ではないんですけど、どうしても個人がやられているサイトというのが結構誘導されがちになりますので、そういうサイトではなく公のところで、ぜひ、そういうリンクを貼っていただきたいというのが私の希望です。ちょっと医療部会とは違うかもしれません。よろしく願いいたします。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

ほかの部会からも、きちんとした情報、はっきり出元が分かるような情報というところで、科学的根拠に基づくような情報をしっかり載せていってほしいというのは、ご意見をいただいているところでございますので、そういった公的な情報機関からのリンクをしっかりと貼っていければと考えてございます。

○岩井医療政策担当部長 では、大井委員、お願いいたします。

○大井委員 はい。がんサポートコミュニティの大井です。

全体のことでということなんですけども、コンテンツの中で検索というのは、先ほどもお話があったかと思うんですが、検索で、患者さんたちがこれを調べたいということが分かっている調べる場合には、特定の用語を入れることが可能だと思うんです。これからサイトをリニューアルしていくのであれば、コンテンツの中で、例えば自分はこういう治療をしていて、こういう状態であるということを入れると、あなたに読んでほしい情報はこれですみたいな形でリストを出してあげられないでしょうか。例えばそうすると、術後こういうことが起こりますよとか、リハビリのことも読んでおいたほうがいいですよみたいな形で、ガイドしてあげるような、患者さんにとって情報のガイドをできるような仕組みというのをぜひ検討いただけたらなと思います。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい、ありがとうございます。

恐らく、今のは本当にA Iのように入れると、それに対する情報がいろいろ出てくるようなイメージなのかと思うんですけど、あくまでも現状は、このポータルサイト内の情報、どこにあるかというところの検索というところがメインにはなってきてしまうので。

なかなか、そこまで患者さんのストーリーに沿った情報提供までできるかどうかというのは難しいかなと思うんですが、今後そういった部分に対しても、技術的な部分で対応できるかどうかは、すぐには難しいかと思うんですが、今後の課題とさせていただきます。

○大井委員 ぜひ、別に外のサイトに行けと言っているわけではなく、リンクが貼られて

いくような形式になると思うんです。ここのページというような形式は、多分サイトに表記できるはずなので、ぜひ検討してください。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

ほかの委員の方はいかがでしょうか。

では、本日の議題全体を通じてのご意見等でも構いません。何かありましたらお願い申し上げます。

若尾委員、お願いいたします。

○若尾委員 はい、ありがとうございます。

若尾ですが、繰り返しになるかもしれませんが、やっぱり全体像を示していただくのと、あと、検索画面とか、やっぱりその辺の見えないところがある中で議論するのは、非常にもうやりにくいというか、実際できないところですので、全体像を示すというのと。

あと、まとめは共生部会だということだというふうに今日お話ししたんですが、本当に共生部会で全部取りまとめるのかと。やっぱり全体の取りまとめがまだやっぱり見えないと思うんで、その役割を決めるのと、あと、今多分、業者さんと都の方で考えていると思うんですが、やっぱり医療者とか、患者さんを入れてちゃんと全体の構成から見直さないと、何か今の引越すだけで済むという話ではないと思いました。

以上です。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 はい。ありがとうございます。

サイトに対しては、基本的には確かに、都と業者との打合せの中で構成を考えているところなんですけれども、いきなりサイトリニューアルでオープンしましたという形にはせずに、ある程度の画面が、作り込みが進んできた段階で、実際に患者さんや医療者の方から、このホームページのテスト版みたいなを見ていただいて、ご意見をいただいた上で修正を加えて、最終的にリニューアルしていくというふうな手順を踏んでいく予定でございますので、そこに関しては、きちんとご意見いただく予定としておりますので、ご理解いただければと思います。

○若尾委員 はい、ありがとうございます。

よくあるのは、もうここまでできたんで直せませんと言われるのが、一番よくあるパターンなので、そういうことのないようお願いいたします。ありがとうございます。

○岩井医療政策担当部長 山下委員、お願いいたします。

○山下委員 はい。今のご質問のやり取りで、田村さんのほうから、今後のプロセスのやり方については了解したんですが、今、スケジュールを見ていると、12月には、もうサイト構築と入っているんですね。間に合うんでしょうか。

今のやり方をされて、この時間軸でできるんでしょうか。逆に時間軸にこだわらず、今言われたようなプロセスをきちんと踏んでいただきたいと思います。

○田村医療連携・歯科担当課長 サイトの構築に関しまして、予算の関係もありますので、

一応年度内には必ずリニューアルオープンというところはどうしてもしなければいけないところではございますが、リニューアルオープンした後も、それでサイトがおしまいというわけではなくて、その後も引き続き、必要に応じて適宜見直した中で修正を加えていくというところはやっていく予定でございますので、大きなサイトの構成を変えるというところは難しいですけれども、個々のコンテンツに関しては、修正は可能ですので、そういった中で対応できればと考えております。

○岩井医療政策担当部長 小寫委員、お願いいたします。

○小寫委員 はい。慈恵大の小寫です。

ちょっと1点確認したいんですけど、実際このポータルサイトを使っている患者さんとかご家族が、使いにくさとか、もっとこうしてほしいみたいな意見をもらえるようなアンケートサイトじゃないけど、それとか、あと今までそういった意見をもらっていたかどうかをちょっと聞きたいんですけども。

○田村医療連携・歯科担当課長 直接、現状患者家族の方から、ホームページのここが問題だとか、そういった意見をもらっているというところはないというところにはなりません。

ただ、山下さんが入っていらっしゃるように、こういった部会なり、協議会の中で、患者家族の代表の方は入っていらっしゃる中で、その中で、ホームページに対するご意見を今伺っているというようなどころにはなりません。

○小寫委員 分かりました。

やっぱり専門家での構築と、実際に使っている患者さん家族からの意見もすごく大事ななと思ったので、確認しました。ありがとうございます。

○岩井医療政策担当部長 ありがとうございます。

若尾委員、お願いいたします。

○若尾委員 すみません。具体的な時期は分かんないんですけど、私、このポータルサイトで今、意見を募集しますというガイドが出たときに、ちゃんとそれでアンケートをやった記憶があるんですけど、そのアンケート結果は誰も見ていないということですか。

反映されていないということになってしまうんですか。トップページの一番上に、今、がんポータルサイトの使い勝手についてご意見を伺っていますというのが出て、アンケートの対応をしていますよ。

ぜひ、ご確認ください。それで、そこで出ている意見等も確認していただく必要があると思います。

○岩井医療政策担当部長 確認させていただきます。

ほかに何かご意見等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

先ほどちょっと若尾委員からご指摘いただいた件は、改めて確認して、また、ご回答を申し上げたいと思います。

では、本日の議題については、一通りご意見を頂戴しました。どうもありがとうございます。

います。

事務局にお返しいたします。

- 田村医療連携・歯科担当課長 すみません。本日は非常にご活発なご意見を頂戴いたしまして、本当にありがとうございます。

本日の議題につきまして、さらにご意見等ございます場合につきましては、来週の金曜日になります11月22日までに、メールで事務局までご連絡いただければと思います。

事務局からは以上になります。

- 岩井医療政策担当部長 では、これもちまして、第1回がん医療部会を終了いたします。

本日は長時間にわたり、どうもありがとうございました。

(午後 3時42分 閉会)